



中野区
議会議員

中村延子

区議会レポート

発行 / 中野区議会民主党議員団

中野区中野 4-8-1 Phone: 03-3228-8876 Fax: 03-3389-8718

編集 / 中村延子事務所

中野区弥生町 4-36-6-402 Phone: 080-6533-9450 Fax: 03-3380-3150
email: n@nakamuranobuko.jp

Vol.13

平成28年1月号

平成27年第3回定例会決算特別 委員会で総括質疑をしました！

行政評価について

問：外部評価委以内の評価に実効性が伴っていないとの指摘について見解はどうか。

答：結果の適時把握に努め、見直しや改善は、翌年度の予算で検討中の主な取り組みの中で区民に説明していきたい。

問：公開ヒアリングは、土日や夜間など、多くの区民が傍聴できる日程で開催しては。

答：今後も広報を一層工夫するとともに、外部評価委員の参加を考慮し検討していく。

国際交流について

問：自治体間の国際交流は、区民に還元されなければならないと考える。区の見解は

答：行政間で交流の基礎作りを行った後、市民レベルの交流に結び付けていきたい。

問：外国人留学生の雇用について、需要と供給がうまくマッチしていない。「ベトナムなかに」にも東京外国人雇用サービスセンターのリンクを貼るなどの対応をしては。

平和への取り組み

問：区内の中学校の道徳授業地区公開講座で、被爆2世の話があったが生徒の反応は。

答：平和や命の大切さについて、考える機会になった。

問：長崎市では被爆伝承の取り組みとして、青少年ピースフォーラム事業を実施している。参加を検討してはどうか。



平成27年第4回定例会本会議一般質問

答：参加者が限定されることや経費の課題もあることから、他自治体の取り組みを参考にしつつ今後検討していきたい。

動物愛護について

問：中野区も殺処分ゼロを明確に目指していくべきでは。

平成27年第4回定例会にて 本会議一般質問を行いました！

基本構想・10か年計画について

問：平成17年に策定した10か年計画から10年が経過する。これまでの10年間でスリポイント制度や区民風車など頓挫してしまった施策の検証が、平成28年4月改定予定の10か年計画のどこに活かされているのか。新たな10年間の施策発展に反映させるべきではないか。

答：取りやめた事業を含め個々の状況を分析し施策の検証を行った。素案はこれまでの検証を踏まえてまとめたものである。

問：現在の10か年計画素案はあいまいなもので、これでは10か年計画と呼べず具体的に示すべき。より具体的に示す予定はあるのか。また、案の段階でパブリックコメントを行うようだが、より具体的な内容が出た段階で再度意見交換会を開催するなど丁寧に進めるべきと考えるが。

答：素案に対する意見を踏まえ検討し、必要な事項は案に盛り込む。また、素案に対する意見交換会での意見を

答：飼い主の責任等を区民に普及啓発し、結果として殺処分がなくなることを目指す。

問：愛犬・愛猫手帳には同行避難に関する記述がない。記載を考えるべきではないか。

答：担当と連携しつつ改定時に詳しく記載する予定である。

新区役所・新体育館整備について

問：新区役所整備費の支出について、整備費201億円のうちこれくらいを区役所敷地および保健所敷地の活用で賄えると思込んでいるのか。また整備費と財源はセットで提示されるべきではないか。

答：区役所再整備費は、他の事例から建築単価を推測し所用面積を乗じる事で簡易に概算することはできるが、区役所・サンプラザ等の敷地活用については、事業の構想がある程度進展しないと具体的な金額を見積もることはできない。

問：オリンピック需要により資材や労務単価が高騰し、中野体育館も使用不可期間が発生する予定の中、平成33年竣工にこだわらない整備スケジュールを再検討すべきではないか。

答：体育館の閉鎖期間については、可能な限り短縮を検討していく。

平成28年度予算に向け、 区長に予算要望を実施しました!

区財政は、消費税増税や株高傾向などの影響により歳入が増え、平成26年度普通会計決算では各種指標に改善傾向が見られました。しかし、株価の先行きは不透明感を増しており、社会保障費の伸びも続くことが見込まれるため、引き続き財務規律を守っていく必要があります。一方で、株高傾向・企業収益の改善が個人の可処分所得増に結びつかない状況が続いています。雇用についても、有効求人倍率は改善傾向にあるものの、正社員に限定すると未だ1倍未満であり、非正規雇用比率は4割を超えました。景気回復と言われても、多くの区民には実感が持てないというのが実際のところです。

このような区民の感覚・生活実態を十分に把握しつつ、区民の生活を支える施策、区の持続可能性を高める施策をしっかりと進める必要があります。

こうした観点から、民主党議員団は、平成28年度予算に各事項が反映されるよう平成27年11月13日、区長へ要望いたしました。(詳細はブログに記載しています)



中野区議会区民委員会で糸魚川市・金沢市に 行政視察へ行ってきました

10月22日および23日の2日間、区民委員会の視察へ行ってきました。初日は、糸魚川市にて「見える化による収納率向上」についてお話を伺いました。税などの収納率向上は貴重な財源確保、そして公正公平な区政運営のためにもとても重要な施策です。人口規模が小さい事によるやり易さも感じましたが、中野区にも参考にな

る部分も多くありました。

2日目は、金沢市にて「再生可能エネルギー導入プラン」についてお話を伺い、その後金沢市西部環境エネルギーセンター内の視察もさせていただきました。見学をさせていただいたゴミ処理場は、5万世帯分の発電をするためエネルギーセンターと命名されていました。



中村延子 略歴
なかむらのぶこ

1981年 9月2日生まれ 東京都中野区出身/東京文化小学校、東京文化中学校卒業/米国アニーライトスクール高等部卒業/米国クレアモント・ピッツァーカレッジ卒業/在学中、北京大学医学部へ短期留学/約4年間、民間企業に勤務/民主党衆議院議員手塚よしお秘書、参議院議員蓮舫秘書として経験を積み、2011年中野区議会議員選挙にて初当選。2015年4月2513票いただき、2期目の当選/役職: 区民委員会委員長、少子高齢化対策調査特別委員会委員

www.nakamuranobuko.jp

趣味

●音楽、料理、旅行、フラワーアレンジメント ●おとめ座/B型/酉年